

みずほCustomer Desk Report 2023/06/27号(As of 2023/06/26)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	143.50
	GBP/USD	AUD/USD			
TKY 9:00AM	143.53	1.0907	156.34	1.2732	0.6681
SYD-NY High	143.70	1.0920	156.71	1.2748	0.6693
SYD-NY Low	142.94	1.0887	155.77	1.2689	0.6668
NY 5:00 PM	143.51	1.0906	156.49	1.2712	0.6675

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,714.71	▲ 12.72	日本2年債	▲0.0800%	0.0000%
NASDAQ	13,335.78	▲ 156.74	日本10年債	0.3500%	▲0.0100%
S&P	4,328.82	▲ 19.51	米国2年債	4.7419%	▲0.0069%
日経平均	32,698.81	▲ 82.73	米国5年債	3.9689%	▲0.0238%
TOPIX	2,260.17	▲ 4.56	米国10年債	3.7222%	▲0.0135%
シゴ日経先物	32,635.00	▲ 65.00	独10年債	2.2980%	▲0.0570%
ロンドンFT	7,453.58	▲ 8.29	英10年債	4.2955%	▲0.0160%
DAX	15,813.06	▲ 16.88	豪10年債	3.9560%	▲0.0410%
ハンセン指数	18,794.13	▲ 95.84	USDJPY 1M Vol	9.31%	0.38%
上海総合	3,150.62	▲ 47.28	USDJPY 3M Vol	10.01%	0.19%
NY金	1,933.80	4.20	USDJPY 6M Vol	9.85%	0.13%
WTI	69.37	0.21	USDJPY 1M 25RR	▲0.74%	Yen Call Over
CRB指数	263.44	0.44	EURJPY 3M Vol	9.67%	0.14%
ドルインデックス	102.69	▲ 0.21	EURJPY 6M Vol	9.71%	0.11%

東京	東京時間オープン前、神田財務官による「為替の足許の動きは急速、行き過ぎた動きには適切に対応したい」との牽制発言にドル円は143円台半ばまで値を下げ、143.53レベルでオープン。今月開催された金融政策決定会合の「主な意見」において、「YCCについて早い段階で扱いの見直しを検討すべき」との内容が伝わると、143.24まで円買いが進んだ。仲値にかけてはドル買い優勢となるも、為替介入への警戒感もあってか上値重く推移し、143.44レベルで海外時間に渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、143.44円レベルでオープン。松野官房長官が円安に警戒感を示す発言をしたことから一時142.94円まで売られる。その後、方向感なく推移し、結局143.25レベルでNYに渡った。ユーロドルは1.0903レベルでオープン。独6月IFO景況感指数が前回から急落して予想を下回る結果となり1.0887に低下。結局、1.0918レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は143円台後半でスタート。東京時間では、日銀6月金融政策決定会合の「主な意見」が発表され、YCCを巡り「早い段階で、扱いの見直しを検討すべきだ」との内容が示され、次回会合での金融政策修正への警戒感が高まる。その後、松野官房長官が円安傾向が続く動きに対し「行き過ぎた動きには適切に対応する」と為替介入の可能性を示唆する発言を受け、円買いが優勢となり、142円台後半まで下落。その後は方向性乏しい推移が続き、143.25レベルでNYオープン。オープン直後は143.07まで下落する場面も見られたが、米金利が上昇を背景に、143.70まで値を戻す。その後は年初来高値の143.87手前で失速し、143円台半ばまで反落。午後は米金利の動意乏しい展開を眺めながら、143.50付近で揉み合いとなり、143.51レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。1.09台丁度付近での推移後、独6月IFO企業景況感指数が予想を下回り、売りで反応し、1.08台後半まで反落。売り一巡後は買い戻され、1.0918レベルでNYオープン。朝方は1.0920を付けるも、その後伸び悩み反落し、1.0900まで値を下げる。午後は上昇材料が見当たらない中、1.0910を挟んだ狭い推移が続き、1.0906レベルでクロス。

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
6月26日	08:50	日 日銀金融政策決定会合 主な意見	-	-
	17:00	独 IFO企業景況感/現況/期待指数	6月 88.5/93.7/83.6	90.7/93.5/88.1

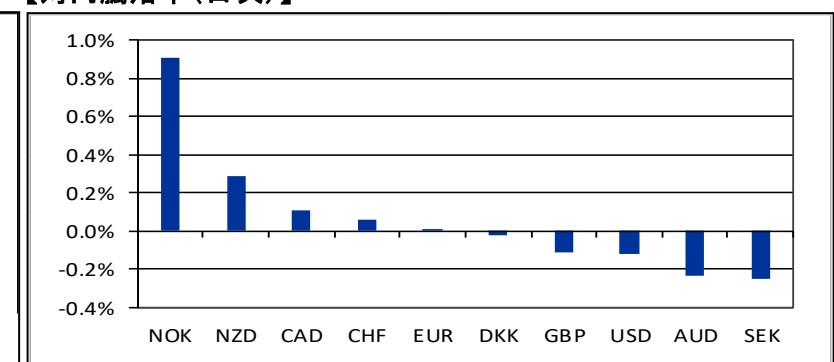
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
6月27日	14:00	日 景気一致指数・確報	4月 -	97.3
	17:00	欧 ラガルドECB総裁講演	-	-
	21:30	加 CPI(前年比)	5月 3.4%	4.4%
	21:30	米 耐久財受注前月比 / 除輸送用機器	5月 -0.8%/0%	1.1%/-0.3%
	23:00	米 新築住宅販売件数	5月 675k	683k
	23:00	米 コンファレンスボード消費者信頼感	6月 103.9	102.3

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	142.80-144.50	1.0800-1.0960	155.50-157.50

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円は下に行ってい。朝方の財務官からの足元の円安を牽制する発言にドル円の上値は重くなった。市場は介入へのトーンが一段階上がったとの評価ではあるが、為替介入警戒感が高まらず。その後、官房長官からの牽制発言もあったが、ドル円が調整すれば買い好機との見方から下値は堅い。

本日のドル円は、引き続き堅調な推移を予想。日本と主要中銀との金融政策スタンスの違いから、円売りが進みやすい地合いは続く見込み。為替介入を実施する前にYCCの撤廃、修正をすることが筋とのとの声もあり、昨日のように牽制発言でドル円が下落すれば拾いたい向きは多い。ただ、7月の日銀会合まで時間があるため、一方的に円安が進めば介入の可能性も否定できず、まず昨年の介入水準(一回目)の145円台が意識されるどころか。明日にはシントラ会議でパウエル議長、植田総裁の発言を控えており、金融政策のスタンスの違いがより意識される中で上値を試すだろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償でのみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当:伊藤・田川